



第51回 精神病態セミナー

うつ病薬物療法再考 —「うつ病診療ガイドライン2025」から Precision Medicineを展望する—

演者：加藤 正樹 先生

関西医科大学医学部

医学科精神神経科学講座 主任教授

日 時 2026年 3月 6日（金）18:00～19:00（質疑応答含む）

開催方法 Zoomを用いたLIVE型のweb形式

参加費 無料

参加方法 3月5日（木）までに下記URLよりお申し込みください。
精神疾患病態研究部のHPからもお申し込みいただけます。

<https://forms.gle/HC3aV5shpnFVg7Um6>

※事前申込が必要です。

2025年末に公開された「うつ病診療ガイドライン2025」は、Mindsの手法に基づき策定された、本邦初のうつ病診療ガイドラインであり、標準的治療の指針として重要な役割を担う。一方、うつ病は症状、経過、治療反応において多様性が大きく、病期やライフステージの違いも加わることから、個別化医療、すなわち Precision Medicineの実装が求められる。本講演では、Measurement-Based Care（MBC）を活用してうつ病の多様性を捉え、治療フェーズおよび治療ゴールの視点から抗うつ薬の有用性評価と薬剤選択について検討する。ガイドラインの内容に加え、うつ病における薬理遺伝学（PGx）研究を含む Precision Medicineの現状を概観し、臨床実践への示唆を考えてみたい。

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部

橋本亮太 Tel: 042-346-2046（内線6255）